

# ネットワーク・九州 総会・講演会

福岡市において2月2日に孤立出産により死産したベトナム人技能実習生グエットさんが「死体遺棄罪」で逮捕され2月27日に起訴されました。

グエットさんの裁判支援の意味をこめて、今回の総会での講演は、移民女性のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスについて発信や支援活動を続けられている上智大学の田中雅子氏をお招きして経験に基づくお話をお聞きし、共に考えたいと考えています。

田中雅子氏



日時

2024年 **5月11日** (土)  
午後1時半から午後4時

場所

大名町カトリック教会4階  
(福岡市中央区大名2丁目7-7  
西鉄グランドホテル前)

参加費

資料代として500円

## プログラム

(1) 開会の挨拶及びネットワーク九州の紹介 (13:30~13:40)

(2) 田中雅子さん講演 (13:40~15:00)

「移民女性の孤立出産が私たちに問いかけること

ー日本におけるリプロダクティブ・ジャスティスの課題ー」

(3) 質疑応答・参加者による意見交換(15:20~16:00)

(4) 閉会の挨拶

※閉会后、ネットワーク・九州の会員による総会を20分程度開催します

主催：移住労働者と共に生きるネットワーク・九州 (ネットワーク・九州)

問い合わせ先：移住労働者と共に生きるネットワーク・九州  
(井上 TEL 090-7450-9805)

## 講師 田中雅子さんのプロフィール

上智大学総合グローバル学部教授

2009年まで国内外のNGOやJICA、赤十字などを通じて、南アジアと西アフリカで開発援助の実務や社会運動にかかわる。2010年より、日本で大学教員として働きながら、災害人道支援や外国人の相談援助に従事。

研究者としては、人の移動が移民とその出身国にもたらす影響、特に移住をめぐる子どもや家族の課題を調査している。近著に『厨房で見る夢：在日ネパール人コックと家族の悲哀と希望』（ビゼイ・ゲワリ著、田中雅子監訳・編著、上智大学出版、2022年）。

## 移住労働者と共に生きるネットワーク・九州とは

ネットワーク九州は日本で暮らす移住者(外国人)の人権擁護に取り組む団体・個人 によるネットワークです。定例会による参加各団体・個人間の情報交換、講演会の開催、出入国管理局・入国管理センターとの意見交換会などの活動をしています。